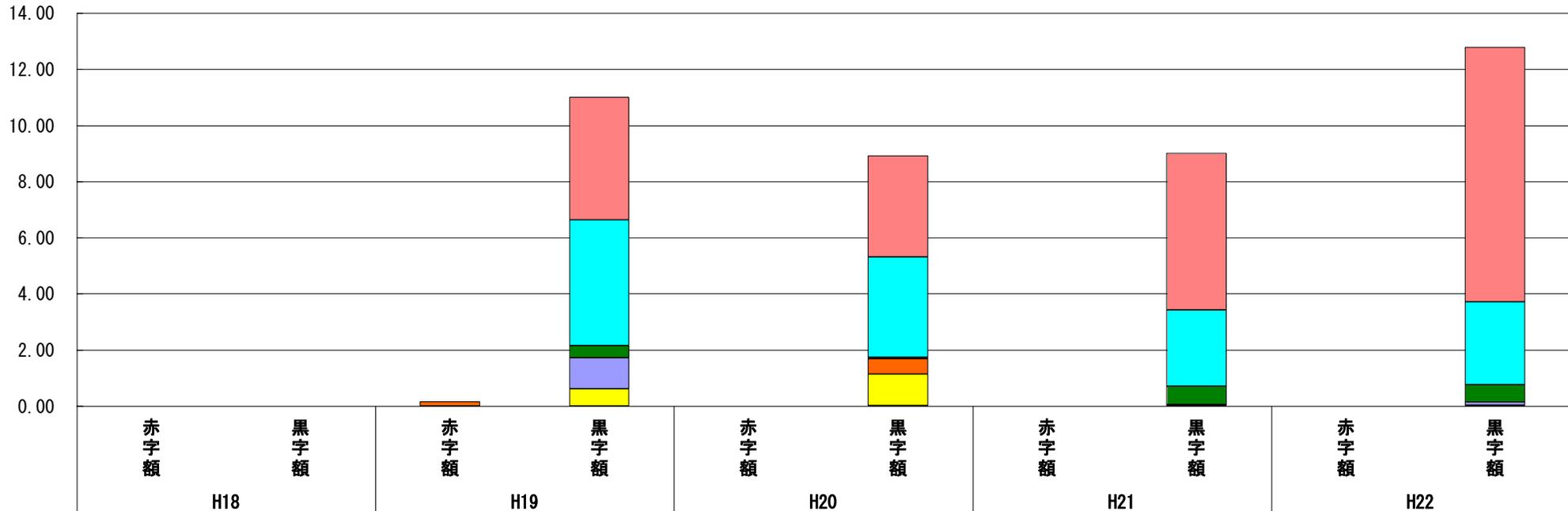


(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成22年度

広島県海田町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
一般会計		-	4.38	3.61	5.59	9.08
水道事業会計		-	4.48	3.57	2.71	2.94
公共下水道事業特別会計		-	0.42	0.01	0.65	0.62
国民健康保険特別会計		-	1.11	0.05	0.04	0.12
老人保健特別会計		-	▲ 0.16	0.54	-	0.01
介護保険特別会計		-	0.62	1.12	0.01	0.01
後期高齢者医療特別会計		-	-	0.02	0.01	0.01

分析欄

連結実質赤字は各年度とも生じていない状況です。
 黒字額の標準財政規模比は、一般会計において20年度は基金の取り崩しをしなかったことにより減少、21年度及び22年度は国民健康保険特別会計への収支不足補てん繰出金の減少等により増加しています。
 水道事業会計では、それぞれ前年度と比べ、20年度は0.91ポイントの減、21年度は0.86ポイントの減、22年度は0.23ポイントの増となっています。
 公共下水道事業特別会計では、20年度は0.41ポイントの減、21年度は0.64ポイントの増、22年度は0.03ポイントの減となっています。
 国民健康保険特別会計では、20年度は1.06ポイントの減、21年度は0.01ポイントの減、22年度は0.08ポイントの増となっています。
 老人保健特別会計では、19年度は、赤字が生じ、繰上充用を行っています。20年度は0.7ポイントの増、21年度は0.54ポイントの減、22年度は0.01ポイントの増となっています。
 介護保険特別会計では、20年度は0.5ポイントの増、21年度は1.11ポイントの減、22年度は同率で推移となっています。
 後期高齢者医療特別会計は、同程度で推移しています。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。